



須田 義大

パーソナルモビリティビークルで街づくり

次世代モビリティ研究会

RC-68

1. 代表幹事

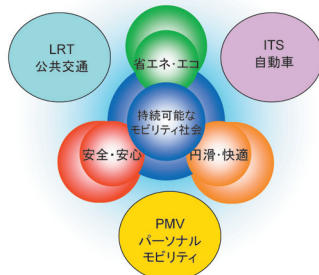
- 須田義大 (東京大学 先進モビリティ研究センター 教授)
- 池内克史 (東京大学 大学院情報学環 教授)
- 桑原雅夫 (東京大学 先進モビリティ研究センター 兼任教授)
- 中野公彦 (東京大学 大学院情報学環 准教授)

連絡先

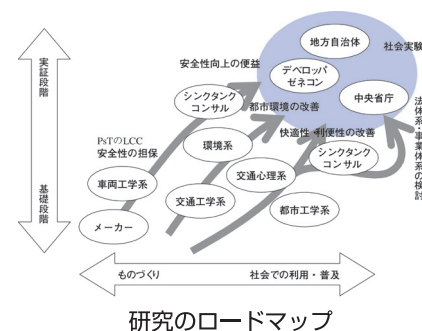
中野公彦
 Tel : 03-5452-6184
 Fax : 03-5452-6644
 e-mail : knakano@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

本研究会は、「国際・産学共同研究センターCCRパーソナルモビリティ研究コミュニティ」(2006~2007)、生産技術研究所「パーソナルモビリティ研究コミュニティ」(2008)の活動を発展的に引き継ぎ、主として都市生活者にとって持続可能なモビリティを実現するために、乗り物とインフラのデザインと、それらの利用形態を見つめ直し、人にも環境にもやさしい、21世紀らしい空間として再構築することで、豊かな楽しい生活をもたらすことを理念とした研究活動である。従来からの研究課題である、高齢者や障害者などの交通弱者にも安全で快適な移動手段を提供するための「乗り物~パーソナルモバイルビークル」が備える資質の提案、「インフラ~パーソナルモバイルビークル」と歩行者が共生可能なデザイン、「人間~パーソナルモバイルビークル」への受容性に加えて、本年度からは活動を拡張し、ITS化された自動車交通、LRTなどの公共交通による融合システムについての研究を行う。また、パーソナルモビリティビークルの新たな形態として、東京大学の研究成果であるハイブリッド式(写真)の研究開発についても進めていく。



開発中のハイブリッド式パーソナルモビリティ



3. その他

- 期 間：平成24年4月~平成25年3月
- 参 加 費：賛助員の場合(賛助会費一口10万円)：参加費20万円
 非賛助員の場合：参加費 法人30万円、個人20万円
- 定 員：参加社数制限無し、1社毎の参加人数制限無し
- 運 営 方 法：研究会を年4回程度開催する予定である。
 必要に応じて、ワーキンググループを構成した活動も実施する。